

地域包括支援センター 及びサブセンターの 事業報告について

船橋市豊富・坪井地域包括支援センター
所長 朽本貴規

豊富地区集計

R7年4月1日現在

町名	人口(人)	世帯数(世帯)	出生数(人)	老齢人口(人)	高齢化率(%)
小野田町	215	133	0	66	30.7%
楠が山町	674	355	2	275	40.8%
金堀町	825	536	1	314	38.1%
神保町	418	238	1	162	38.8%
大神保町	138	63	1	51	37.0%
豊富町	1,535	717	6	487	31.7%
鈴身町	320	156	0	128	40.0%
車方町	98	79	0	56	57.1%
古和釜町	1,294	638	1	505	39.0%
小室町	6,745	3,394	30	2,014	29.9%
小計	12,262	6,309	42	4,058	33.1%

船橋全体	650768	325689	3881	155059	23.8%
------	--------	--------	------	--------	-------

豊富地区データ

人口：12,262人

世帯数：6,309世帯

出生数：42人

高齢人口（65歳以上）：4,058人

高齢化率：33.1%

船橋市全体の高齢化率：23.8%

- 船橋市平均より約10ポイント高い
高齢化率（33.1%）
- 地区内で高齢化の進行に
ばらつきあり
- 少子高齢化の進行により地域の
担い手減少が懸念される

豊富地区における小室町の特徴

人口：6,745人（豊富地区の約
55%）

世帯数：3,394世帯

出生数：30人（豊富地区全体の
71%）

高齢人口：2,014人

高齢化率：29.9%（豊富地区より
低め、しかし市全体より高い）

豊富地区の立地課題

地区別面積・高齢者人口（面積上位のみ抜粋。R6.4時点）

地区 コミュニティ	面積 (Ha)	高齢者 人口
豊富地区	1,410	4,128
湊町地区	768	5,783
法典地区	605	11,575
三山・田喜野井地区	455	10,143
塚田地区	429	9,819
宮本地区	400	7,791

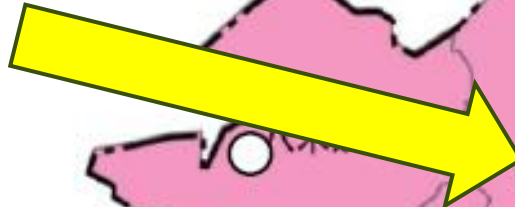
面積が広い事により
相談者が相談に行きづらい

包括職員が高齢者宅に
行きづらく、往復に
時間を要する

小室サブセンター



豊富・坪井
地域包括支援センター



小室地区住民への事前説明会



小室サブセンター 開設



介護予防教室



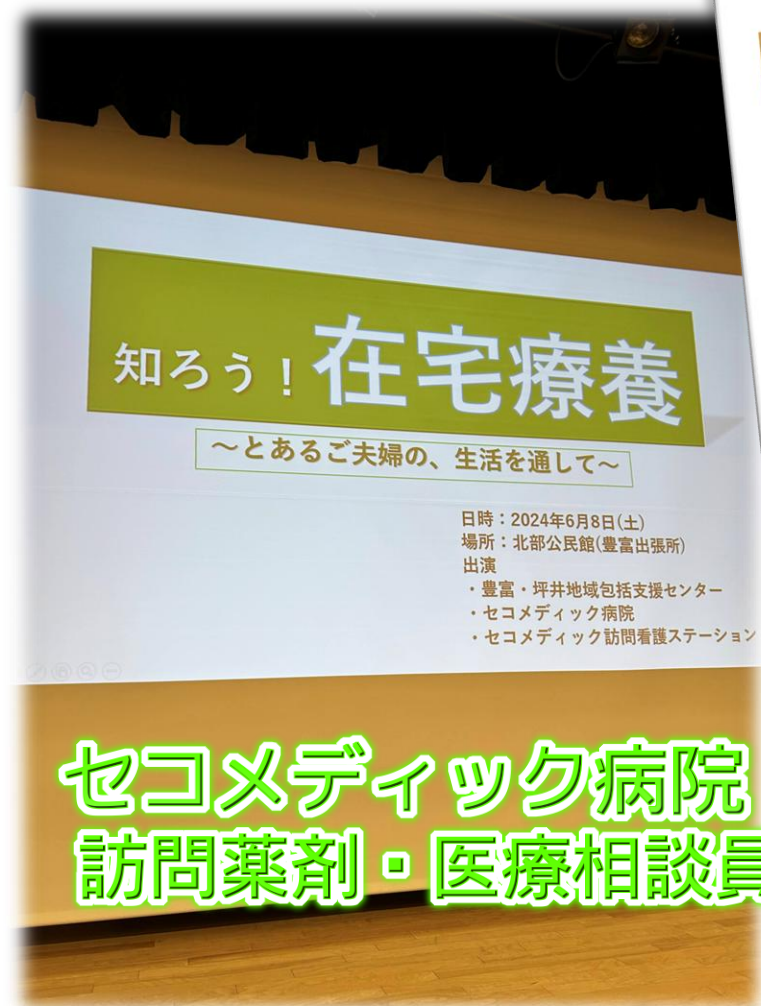
地域ケア会議の様子



地域勉強会



ケア会議主体の講演会

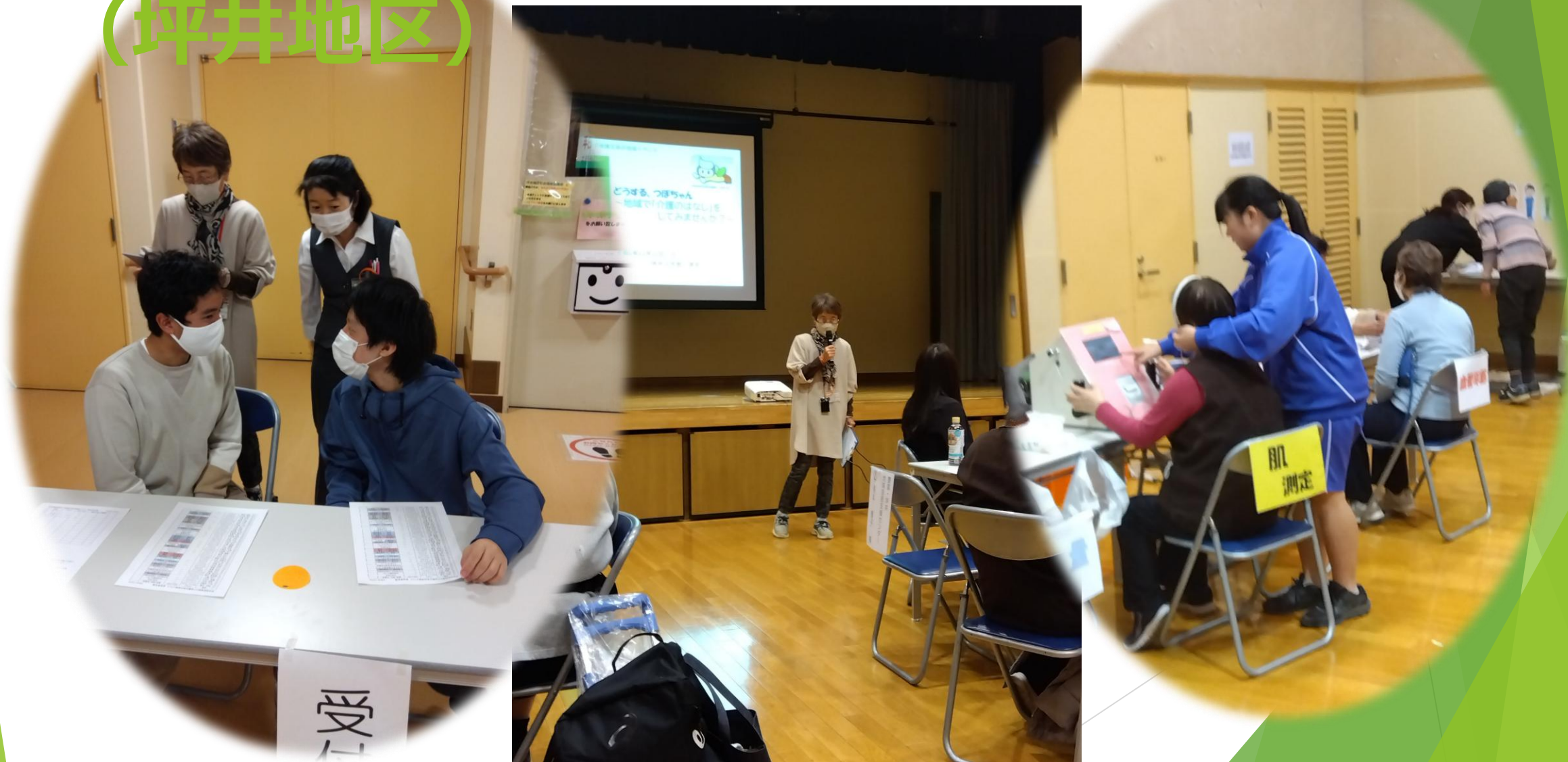


セコメディック病院
訪問薬剤・医療相談員

訪問診療・訪問リハビリテーション
セコメディック訪問看護ステーション
全面協力頂き実施



ケア会議主体の講演会 (坪井地区)





豊富・坪井包括だより

私たち地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんやそのご家族の為に介護・福祉や医療、健康、認知症などに関するご相談の窓口です。市が設置する相談機関であり、専門職の相談員が配置されています。

豊富地区地域ケア会議を開催しました

9月4日（水）に豊富地区地域ケア会議を開催しました。6月に行った地域ケア会議主体の講演会の振り返りを行い、地域の皆さまから大変好評であったとお声をいただきました。100名以上が参加されており、地域の関心が高い内容であったと感じました。今後も地域の皆さまの「知りたい」を学べる場所を提供できればと考えています。

最近、独居でお住まいの方や認知症の方が増えており、地域としてどのように「見守り」を実施するかについて話し合いました。見守りといっても様々な形があること、役割に応じた支援の体制を整えること、情報を共有することなどが大切ではないかとの意見が出ました。

ご協力をお願いすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

防犯宣言が行われました

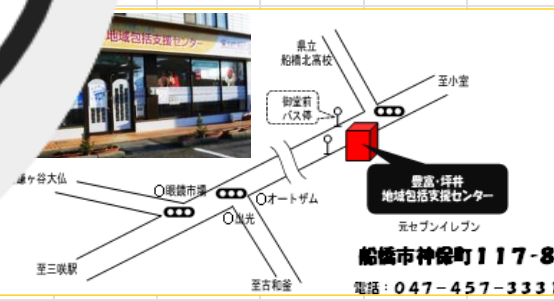
警察署長の連名による、「電話de詐欺撲滅

は減少しているものの、認知件数は73件、発生しています。

防ぐこともできます。騙されないために

留守番電話機能や番号通知サービスの利用を推奨しています。

市役所または船橋市役所 市民安全推進ください。



9月は

世界アルツハイマー

共に生き ともに歩もう 認知症

世界アルツハイマー月間とは？

1994年「国際アルツハイマー病協会」（ADI）は、世界保健機関（WHO）年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」定めています。アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と希望をもたらす事を目的としています。



認知症のタイプを知っていますか？

アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭葉型認知症
いちばん多い認知症。脳の機能が全般的に低下する。脳の変化は症状がでる何十年も前から起きており、徐々に進行していく。	脳梗塞や脳出血などの病気で、病変部分の脳の細胞の働きが失われることで発症。脳梗塞の再発などで症状が段階的に進む。	脳にレビー小体（たんぱく物質）が蓄積されて発症。生々しい幻覚（ないものがあるように見える）が現れるのが特徴。	脳の前頭葉の機能が低下する。衝動的な行動や、判断力の低下、計画性の低下などが特徴。
・女性に多い ・物忘れの自覚がなくなる ・ゆっくり症状が進行する ・人格が変わることがある	・男性に多い ・意欲が低下しやすい ・人格や判断力は保たれる	・手足の震えや筋肉の硬直で転倒しやすい ・そこにいない人や虫などの幻覚がはっきりと現れる	・同じ行動を繰り返す ・興味や関心の喪失 ・万引きなどの衝動的な行動



「食事」と「運動」で認知症を予防しましょう

青背の魚を積極的に

青背に多く含まれる不飽和脂肪酸（DHA、EPAなど）が脳の神経を保護し、動脈硬化を予防します。

緑黄色野菜を積極的に

緑黄色野菜に含まれるビタミンC、βカロテン、リコピンなどの抗酸化物質が動脈硬化を予防します。

水分補給を忘れずに

水分不足は血管を詰まらせ、認知症のリスクを高めます。意識的にこまめに水分を摂りましょう。

有酸素運動を日々の習慣に

有酸素運動は、血流をよくして動脈硬化を防ぎ、認知症予防に効果的です。20分から60分程度の有酸素運動をできれば毎日、少なくとも週2から3回は続けましょう。無理は禁物。

毎日の家事も立派な運動

買い物は徒歩で行く、ごみを分別出す、こまめに部屋の掃除をするなど、日常の家事を手入れをするなど、日常生活を無理のない範囲で継続しましょう。

認知症サポーター ステップアップ研修



オレンジカフェ「もったいない亭」の皆様と

お花畑計画



担当ケアマネ
生活支援コーディネーター
民生委員や地域の方々と実施

ご清聴ありがとうございました

